



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(1/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

1) 試験を実施する事業所

事業所名称	ユーロフィン日本環境株式会社 環境ラボ	
同 所在地	〒	236-0003
	住所	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号
恒久的施設で行う試験か、 現地試験かの別	☒ 恒久的施設で行う試験 ☒ 現地試験	

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A2
分類名称	環境試料

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B1.1 重量分析	水質：浮遊物質(SS)	・昭和46年環境庁告示第59号※A 付表8 試料採取：JIS K 0102-1 4.8.1 「工業用水・工場排水試験方法―第1部： 一般理化学試験方法」
	水質：n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	・JIS K 0102-1 22.3 ・JIS K 0102-1 22.5 試料採取：JIS K 0102-1 22.2
B1.2 容量分析Ⅰ： 酸化還元滴定	水質：COD _{Mn}	・JIS K 0102-1 17.2 試料採取：JIS K 0102-1 4.8.1
	水質：溶存酸素量(DO)	・JIS K 0102-1 21.2 試料採取：JIS K 0102-1 21.2.4.1
B2.1 吸光光度分析： 紫外・可視分光分析	水質：Cr(VI)	・JIS K 0102-3 24.3.1 「工業用水・工場排水試験方法―第3部： 金属」 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：フェノール類	・JIS K 0102-4 5.2.2.2 及び 5.2.3 「工業用水・工場排水試験方法―第4 部：有機物」 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1
	水質：ふっ素化合物	・JIS K 0102-2 5.2.2 及び 5.3 「工業用水・工場排水試験方法―第2 部：陰イオン類，アンモニウムイオン， 有機体窒素，全窒素及び全りん」 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(2/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦 2 丁目 1 番 13 号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	水質：シアン化合物	・ JIS K 0102-2 9.3.2 及び 9.5 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質：アンモニウムイオン	・ JIS K 0102-2 13.2.2 及び 13.4 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質：全窒素	・ JIS K 0102-2 17.3 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質：りん酸イオン	・ JIS K 0102-2 18.2.1 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質：全りん	・ JIS K 0102-2 18.4.1 及び 18.4.4 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
B2.1 吸光光度分析： 紫外・可視分光分析	土壌：Cr(VI) ふっ素 シアン	溶出： ・ 平成 3 年環境庁告示第 46 号※B ・ 平成 15 年環境省告示第 18 号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号)
		含有： ・ 平成 15 年環境省告示第 19 号※D 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号)
B2.2 原子吸光分析： 還元気化原子吸光	水質：Hg	・ 昭和 46 年環境庁告示第 59 号※A 付表 2 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
B2.2 原子吸光分析： 還元気化原子吸光	土壌：Hg	溶出： ・ 平成 3 年環境庁告示第 46 号※B ・ 平成 15 年環境省告示第 18 号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号)
		含有： ・ 平成 15 年環境省告示第 19 号※D 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号)
B2.2 原子吸光分析： 金アマルガム捕集加熱気 化冷原子吸光法	大気：Hg	・ 有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第 5 部第 2 章 大気中の水銀の測定方法 (環境省 令和 5 年 5 月 19 日) 試料採取：同上
B2.2 原子吸光分析： 水素化物発生原子吸光	土壌：As	含有： ・ 昭和 50 年総理府令第 31 号 試料採取：同上



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(3/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B2.2 原子吸光分析： フレイム原子吸光	土壌：Cu	含有： ・昭和47年総理府令第66号 試料採取：同上
B2.4 発光分光分析： ICP-OES	水質：Cu	・JIS K 0102-3 11.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Zn	・JIS K 0102-3 12.4 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Mn	・JIS K 0102-3 15.4 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Fe	・JIS K 0102-3 16.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Ni	・JIS K 0102-3 18.4 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Co	・JIS K 0102-3 19.3 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
B3.6 質量分析Ⅰ：GC/MS	水質：VOC※1	・JIS K 0125 5.2.1 「用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法」 試料採取：JIS K 0125 4
	水質：1,4-ジオキサン	・昭和46年環境庁告示第59号※A 付表7 試料採取：JIS K 0125 4
	大気：VOC※2	・有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第2部 第1章 第1節 容器採取ーガスクロマトグラフ質量分析法 (環境省 令和5年5月19日) 試料採取：同上
	大気：酸化エチレン	・有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第4部 第2章 固相捕集ー溶媒抽出ーガスクロマトグラフ質量分析法 (環境省 令和5年5月19日) 試料採取：同上
	室内空気： VOC※3	・室内空気中化学物質の測定マニュアル (統合版) 3.1 第1法 固相吸着ー溶媒抽出ーガスクロマトグラフィー／質量分析法 (厚生労働省 令和7年1月17日) 試料採取：室内空気中化学物質の測定マニュアル (統合版) 1. 試料採取方法



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(4/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	排ガス： ダイオキシン類	・ JIS K 0311 「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」 試料採取：同上
	環境大気： ダイオキシン類	・ ダイオキシン類に係る大気環境測定マニュアル（環境省 令和4年3月） 試料採取：同上
	室内空気： ダイオキシン類	・ 厚生労働省通達 基発第0110号第2号別添（平成26年1月10日） 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」の改正について 試料採取：同上
	水質： ダイオキシン類	・ JIS K 0312 「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法」 試料採取：同上
	土壌： ダイオキシン類	・ ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（環境省 令和4年3月） 試料採取：同上
	底質： ダイオキシン類	・ ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（環境省 令和4年3月） 試料採取：同上
	ばいじん・燃え殻： ダイオキシン類	・ 昭和48年 環境庁告示第14号 「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条1項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法」 試料採取：同上
		・ 平成16年 環境省告示第80号 「ダイオキシン類特別措置法施行規則第2条第2項第1号に基づき環境大臣が定める方法」 試料採取：同上



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(5/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B3.6 質量分析Ⅰ：LC/MS/MS	水質：有機フッ素化合物※4	・ EPA method 537.1 「DETERMINATION OF SELECTED PER- AND POLYFLUORINATED ALKYL SUBSTANCES IN DRINKING WATER BY SOLID PHASE EXTRACTION AND LIQUID CHROMATOGRAPHY/TANDEM MASS SPECTROMETRY (LC/MS/MS)」の一部変更（分析対象項目の追加、固相抽出手順の変更）
	水質：有機フッ素化合物※5	・ EPA method 1633A 「ANALYSIS OF PER- AND POLYFLUOROALKYL SUBSTANCES (PFAS) IN AQUWOU, SOLID, BIOSOLIDS, AND TISSUE SAMPLES BY LC-MS/MS」
	土壌・底質：有機フッ素化合物※5	・ EPA method 1633A 「ANALYSIS OF PER- AND POLYFLUOROALKYL SUBSTANCES (PFAS) IN AQUWOU, SOLID, BIOSOLIDS, AND TISSUE SAMPLES BY LC-MS/MS」
B3.7 質量分析Ⅱ：ICP-MS	水質：B	・ JIS K 0102-3 5.6 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Cu	・ JIS K 0102-3 11.6 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Zn	・ JIS K 0102-3 12.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Pb	・ JIS K 0102-3 13.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Cd	・ JIS K 0102-3 14.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Mn	・ JIS K 0102-3 15.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Ni	・ JIS K 0102-3 18.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：As	・ JIS K 0102-3 20.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Cr	・ JIS K 0102-3 24.2.5 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質：Se	・ JIS K 0102-3 26.4 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(6/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	土壌：B、Pb、Cd、As、Se	溶出： ・平成3年環境庁告示第46号※B ・平成15年環境省告示第18号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成14年環境省令第29号) 含有： ・平成15年環境省告示第19号※D 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成14年環境省令第29号)
	大気：Cd、Pb、Cr、Ni、 As、Be、Mn、Zn、 Se、V	・有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第5部 第1章 大気粉じん中の重金属類 の測定方法(環境省 令和5年5月19 日) 試料採取：同上
B4.1 pH 測定	水質：pH	・JIS K 0102-1 12 試料採取：JIS K 0102-1 4.8.1
B4.2 電気伝導率測定	水質： 電気伝導率	・JIS K 0102-1 13 試料採取：JIS K 0102-1 4.8.1
B4.6 イオン電極測定	水質： ふっ素化合物	・JIS K 0102-2 5.2.2 及び 5.6 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
B5.1 クロマトグラフィー：IC	水質： ふっ素化合物	・JIS K 0102-2 5.5 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 塩化物イオン	・JIS K 0102-2 6.3 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 硫酸イオン	・JIS K 0102-2 12.5 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 亜硝酸イオン	・JIS K 0102-2 14.4 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 硝酸イオン	・JIS K 0102-2 15.8 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
B5.1 クロマトグラフィー：GC	水質： PCB	・昭和46年環境庁告示第59号※A 付表4 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1
	水質： アルキル水銀	・昭和46年環境庁告示第59号※A 付表3 試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質： シマジン、 チオベンカルブ	・昭和46年環境庁告示第59号※A 付表6第2 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(7/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	水質： 有機りん	・ JIS K 0102-4 7.2.1 及び 7.2.3 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1
	土壌： PCB シマジン、 チオベンカルブ 有機りん	溶出： ・ 平成3年環境庁告示第46号※B ・ 平成15年環境省告示第18号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成14年環境省令第29号)
B5.1 クロマトグラフィー： HPLC	水質：チウラム	・ 昭和46年環境庁告示第59号※A 付表5 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1
	土壌：チウラム	溶出： ・ 平成3年環境庁告示第46号※B ・ 平成15年環境省告示第18号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成14年環境省令第29号)
	環境大気： ホルムアルデヒド アセトアルデヒド	・ 有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第4部 第1章 第1節 固相捕集－高速液体 クロマトグラフ法 (環境省 令和5年5月19日) 試料採取：同上
	環境大気： ベンゾ(a)ピレン	・ 有害大気汚染物質測定方法マニュアル 第3部 第1章 フィルタ捕集－高速液体 クロマトグラフ法 (環境省 令和5年5月19日) 試料採取：同上
	室内空気： ホルムアルデヒド アセトアルデヒド	・ 室内空気中化学物質の測定マニュアル (統合版) 2. アルデヒド類の測定方法 (厚生労働省 令和7年1月17日) 試料採取：室内空気中化学物質の測定マニ ュアル (統合版) 1. 試料採取方法
B5.2 フローインジェクション分析： CFA	水質：Cr(VI)	試料採取：JIS K 0102-3 4.1.9.1
	水質： アンモニウムイオン	・ JIS K 0102-2 13.2.2 及び 13.6 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 亜硝酸イオン	・ JIS K 0102-2 14.3 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 硝酸イオン	・ JIS K 0102-2 15.7 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： 全窒素	・ JIS K 0102-2 17.5 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(8/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦 2 丁目 1 番 13 号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	水質： 全りん	・ JIS K 0102-2 18.4.6 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： フェノール類	・ JIS K 0102-4 5.2.2.2 及び 5.2.4 試料採取：JIS K 0102-4 4.14.1
	水質： ふっ素化合物	・ JIS K 0102-2 5.4 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	水質： シアン化合物	・ JIS K 0102-2 9.3.2 及び 9.6 ・ 昭和 46 年環境庁告示第 59 号※A 付表 1 試料採取：JIS K 0102-2 4.12.1
	土壌：Cr(VI) ふっ素 シアン	溶出： ・ 平成 3 年環境庁告示第 46 号※B ・ 平成 15 年環境省告示第 18 号※C 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号) 含有： ・ 平成 15 年環境省告示第 19 号※D 試料採取：土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号)
B10.2 微生物学的試験： 隔膜電極法	水質：BOD	・ JIS K 0102-1 18 及び 21.4 試料採取：JIS K 0102-1 4.8.1

【注記】

- ※1：1,1-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、*cis*-及び *trans*-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、*cis*-及び *trans*- 1,3-ジクロロプロペン、1,1,2-トリクロロエタン、テトラクロロエチレン、クロロホルム、1,2-ジクロロプロパン、*p*-ジクロロベンゼン、トルエン、*o*-キシレン、*m*-キシレン、*p*-キシレン
- ※2：アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,3-ブタジエン、トルエン、*o*-キシレン、*m*-キシレン、*p*-キシレン、スチレン、エチルベンゼン、*p*-ジクロロベンゼン、塩化メチル
- ※3：トルエン、*o*-キシレン、*m*-キシレン、*p*-キシレン、エチルベンゼン、スチレン、*p*-ジクロロベンゼン
- ※4：HFPO-DA、NEtFOSAA、NMeFOSAA、PFBS、PFDA、PFDoA、PFHpA、PFHxS、PFHxA、PFNA、PFOS、PFOA、PFTA、PFTTrDA、PFUnA、11Cl-PF3OUdS、9Cl-PF3ONS、ADONA、PFBA、4:2FTS、6:2FTS、8:2FTS
- ※5：PFBA、PFPeA、PFHxA、PFHpA、PFOA、PFNA、PFDA、PFUnA、PFDoA、PFTTrDA、PFTTeDA、PFBS、PFPeS、PFHxS、PFHpS、PFOS、PFNS、PFDS、PFDoS、4:2FTS、6:2FTS、8:2FTS、PFOSA、NMeFOSA、NEtFOSA、NMeFOSAA、NEtFOSAA、NMeFOSE、NEtFOSE、HFPO-DA、ADONA、PFMPA、PFMBA、NFDHA、9Cl-PF3ONS、11Cl-

複写



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(9/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
PF3OUdS、PFEEESA、3:3FTCA、5:3FTCA、7:3FTCA		
※A：水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年12月28日環境庁告示第59号） ※B：土壌の汚染に係る環境基準について（平成3年8月23日環境庁告示第46号） ※C：土壌溶出量調査に係る測定方法を定める件（平成15年3月6日環境省告示第18号） ※D：土壌含有量調査に係る測定方法を定める件（平成15年3月6日環境省告示第19号）		



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(10/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A16
分類名称	石油関連製品：絶縁油

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B5.1 クロマトグラフィー： GC	PCB	・絶縁油中の微量 PCB に関する簡易測定法マニュアル（第3版）2.1.2（環境省 平成23年5月） 試料採取：絶縁油中の微量 PCB に関する簡易測定法マニュアル（第3版）1.4



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(11/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦 2 丁目 1 番 13 号

1) 試験を実施する事業所

事業所名称	ユーロフィン日本環境株式会社 東京事業所	
同 所在地	〒	136-0075
	住所	東京都江東区新砂 1-6-35 JMF ビル東陽町 02 4 階
恒久的施設で行う試験か、 現地試験かの別	☐ 恒久的施設で行う試験 ☒ 現地試験（サンプリング）	

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A2
分類名称	環境試料

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B10.3 試料採取	水質試料採取	・ JIS K 0102-1 4.8.1, 21.2.4.1, 22.2 ・ JIS K 0102-2 4.12.1 ・ JIS K 0102-3 4.1.9.1 ・ JIS K 0102-4 4.14.1 ・ JIS K 0125 4
	土壌試料採取	・ 土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号) ・ 昭和 50 年総理府令第 31 号 ・ 昭和 47 年総理府令第 66 号
	大気試料採取	・ 有害大気汚染物質測定方法マニュアル (環境省 令和 5 年 5 月 19 日) ○第 2 部 第 1 章 第 1 節 容器採取ーガスクロマト グラフ質量分析法 ○第 3 部 第 1 章 第 1 節 フィルタ捕集ー高速液体 クロマトグラフ法 ○第 4 部 第 1 章 第 1 節 固相捕集ー高速液体クロ マトグラフ法 ○第 4 部 第 2 章 固相捕集ー溶媒抽出ーガスクロ マトグラフ質量分析法 ○第 5 部 第 1 章 大気粉じん中の重金属類の測定 方法 ○第 5 部 第 2 章 大気中の水銀の測定方法
	室内空気	・ 室内空気中化学物質の測定マニュアル (統合 版) 1. 試料採取方法 (厚生労働省 令和 7 年 1 月 17 日)

複写



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(12/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A16
分類名称	石油関連製品：絶縁油

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B10.3 試料採取	絶縁油：PCB	・絶縁油中の微量 PCB に関する簡易測定法マニュアル（第3版）1.4



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(13/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

1) 試験を実施する事業所

事業所名称	ユーロフィン日本環境株式会社 大阪事業所	
同 所在地	〒	564-0052
	住所	大阪府吹田市広芝町15番34号
恒久的施設で行う試験か、 現地試験かの別	☐ 恒久的施設で行う試験 ☒ 現地試験（サンプリング）	

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A2
分類名称	環境試料

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B10.3 試料採取	水質試料採取	・ JIS K 0102-1 4.8.1, 21.2.4.1, 22.2 ・ JIS K 0102-2 4.12.1 ・ JIS K 0102-3 4.1.9.1 ・ JIS K 0102-4 4.14.1 ・ JIS K 0125 4
	土壌試料採取	・ 土壌汚染対策施行規則 (平成14年環境省令第29号) ・ 昭和50年総理府令第31号 ・ 昭和47年総理府令第66号
	大気試料採取	・ 有害大気汚染物質測定方法マニュアル (環境省 令和5年5月19日) ○第2部 第1章 第1節 容器採取ーガスクロマト グラフ質量分析法 ○第3部 第1章 第1節 フィルタ捕集ー高速液体 クロマトグラフ法 ○第4部 第2章 固相捕集ー溶媒抽出ーガスクロ マトグラフ質量分析法 ○第4部 第1章 第1節 固相捕集ー高速液体クロ マトグラフ ○第5部 第1章 大気粉じん中の重金属類の測定 方法 ○第5部 第2章 大気中の水銀の測定方法
	室内空気	・ 室内空気中化学物質の測定マニュアル (統合 版) 1. 試料採取方法 (厚生労働省 令和7年1月17日)

複写



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(14/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A16
分類名称	石油関連製品：絶縁油

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B10.3 試料採取	絶縁油：PCB	・絶縁油中の微量 PCB に関する簡易測定法マニュアル（第3版）1.4



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(15/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

1) 試験を実施する事業所

事業所名称	ユーロフィン日本環境株式会社 北関東事業所	
同 所在地	〒	375-0014
	住所	群馬県藤岡市下栗須 387-2
恒久的施設で行う試験か、 現地試験かの別	☐ 恒久的施設で行う試験 ☒ 現地試験（サンプリング）	

認定範囲

分野	M26 化学試験
分類コード	M26.A2
分類名称	環境試料

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
B10.3 試料採取	水質試料採取	・ JIS K 0102-1 4.8.1, 21.2.4.1, 22.2 ・ JIS K 0102-2 4.12.1 ・ JIS K 0102-3 4.1.9.1 ・ JIS K 0102-4 4.14.1 ・ JIS K 0125 4
	土壌試料採取	・ 土壌汚染対策施行規則 (平成 14 年環境省令第 29 号) ・ 昭和 50 年総理府令第 31 号 ・ 昭和 47 年総理府令第 66 号
	排ガス： ダイオキシン類採取	・ JIS K 0311 「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」
	環境大気： ダイオキシン類採取	・ ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル (環境省 令和 4 年 3 月)
	室内空気： ダイオキシン類採取	・ 厚生労働省通達 基発第 0110 号第 2 号別添 (平成 26 年 1 月 10 日) 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類 ばく露防止対策要綱」の改正について
	水質： ダイオキシン類採取	・ JIS K 0312 「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定 方法」
	土壌： ダイオキシン類採取	・ ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル (環境省 令和 4 年 3 月)



認定番号

RTL03980

認定証 附属書

(16/16頁)

試験所・校正機関の別	試験所
機関名称	ユーロフィン日本環境株式会社
機関所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦2丁目1番13号

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格／標準作業手順書
	底質： ダイオキシン類採取	・ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル (環境省 令和4年3月) ・昭和48年 環境庁告示第14号 「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行 令第五条1項に規定する埋立場所等に排出しよう とする廃棄物に含まれる金属等の検定方法」
	ばいじん・燃え殻： ダイオキシン類採取	・平成16年 環境省告示第80号 「ダイオキシン類特別措置法施行規則第2条第2 項第1号に基づき環境大臣が定める方法」

【認定証に係る注記】

- 1) この認定は、上記規格に規定されたラボラトリ活動を対象とするものであり、規格に含まれるその他の活動、例えばリスクマネジメント、リスクアセスメントの実施等はラボラトリの認定された能力の範囲には含まない。
- 2) 年号及び/又は版番号の表記がない場合、最新規格の発行後半年以内に最新版に対応した試験・校正・サンプリングを実施する。
- 3) FCC 向け EMC 試験所のみ
本認定は、試験対象品目が FCC 規制による承認を受けたことを意味するものではない。
FCC が承認した試験所の一覧は FCC ウェブサイト(<https://apps.fcc.gov/oetcf/eas/>) を参照のこと。

公益財団法人
日本適合性認定協会